

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	グッドスマイル		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 9日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容により専門的スタッフを配置している	・専門的なアドバイスのもと、運動機能の向上や集中力の向上など様々な効果が見られると共に、社会的な経験も積むことが出来ます。	・継続して今後も専門的指導を行っていく
2	・様々な行事の充実化・外出支援等の充実内容や季節に応じた行事活動	・家庭では難しい様々な活動内容をスタッフで話し合い毎月プログラム内容の充実化を行っています	・引き続きスタッフ同士で活動案を出し合い充実した活動プログラムの作成に努めてまいります
3	・こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されている	・AI分析によるプログラムの作成を導入し様々な視点から課題やニーズを見つけ子どもの分析に特化しております ・複数の職員での話し合いの中で作成し保護者様に共有させていただいております	・引き続き情報共有に努めてまいります ・何かあればすぐに相談して頂きたいと思っております 相談後の体制にも更に全職員で強化してまいります

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士のつながりや地域との関わりが少ない状況である	・一部の保護者より保護者会や地域行事などの開催に対しての声を頂いておりますが、反対の意見もある為現状進めていない状況が続いています。	・今後も両者の意見を踏まえたうえでの対応をさせて頂きたいと考えています
2	・ブレイルームが2階にあり階段を上った入室となる ・バリアフリー化がされていない	・開所時に肢体不自由児の受け入れを考えていなかった	・今後は受け入れ態勢を整え、必要であればバリアフリー化の検討をしていきたい
3			